

### 7月からの生活保護法の改正は 制度の後退では

#### 生活保護受給世帯が増加傾向で 後退ではない



必要とする人には確実に保護を実施し、生活保護の適正な実施運営に努めています。

生活保護法が7月改正され、消費税率の引き上げと扶助費削減も含め、生活保護行政全体の後退になるのではないのか。

生活保護法はすべての国民に対し無差別平等に最低限の生活を保障するものであり、確実な保護の実施が重要と認識しています。

水際作戦については、国や県の通知に基づき、保護を

昨年11月の参議院厚生労働委員会、窓口段階で保護申請を拒否する「水際作戦」はとらな

本市では、国や県の通知に基づき、保護を

各種募金と自治会とは どのような関係にあるのか



自治会長の研修などで説明 募金主旨にそって協力要請

### 食育に対する認知度を 上げるための取り組みは

#### 食育推進のついでに産業まつりのぼり旗などで広く市民に周知



地元農産物の給食での利用率は、また直売所情報の充実。

学校給食での使用量は年々増え利用割合は42%です。直売所情報、滝沢市産直連絡協議会を設置し、各直

### (仮称)滝沢南スマートインターチェンジ整備事業の効果は

#### 広域的利便性の向上などがある



4つの効果が考えられます。①居住者及び

利便性は、滝沢、盛岡インターチェンジを含め、市内のほぼ全域が10

います。25年度は、総額286万1043円で、その内の45%を県緑化推進委員会へ納め、残りの55%（157万3575円）は滝沢支部として

「第6回いわての森林の感謝祭」の開催に150万円、植樹の苗木配布に37万6500円、植栽の下刈りに8万9250円を支出しました。

自治会を通じて行われる各種募金は、どのようになっているのか。

市内の空き家対策条例を 早急に策定する考えは

#### 国会の法案成立に併せ 空き家対策を考えていく



空き家になると心配されるのが、まずは火災の発生、防犯や防災機能の低下、ごみの不法投棄を誘発する等、風景・景観の悪化が心配されます。

### 生産者と消費者を 近づけるための取り組みは

#### 学校給食の残菜量とその処理は

残菜量は22年が52トン、25年が49トンと減少しています。処理は、給食センターで脱水し、清掃センターで処分しています。

放課後、自宅に一人でいる児童の人数は、また児童を対象にした居場所を地域の中につくる

### 滝沢市内の中学生 逮捕の経緯と対策は

#### 指導の原点に立ち返り 生徒との信頼関係を大切にします

中学生が学校内で逮捕に至るまでの経緯と

25年度の調査で、分以内でアクセス可能となり、探査性は、利用者が多く見込まれることから、増収額が整備や維持管理費を大きく上回り採算性を確保できま

### 「ネット依存」に 関するサポートは

#### 外部講師に依頼し 小中学校で実施



ネット依存に陥らないための教育上のサポートの考えは。

高年齢者の介護予防の

救急医療機器のAEDは有効であると認識

現在、機能面や使い易さ等を検討しており、今後関係する団体等と協議します。

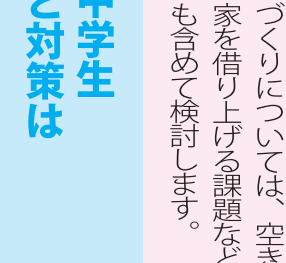
この制度の問題点は、首長が教育指導、人事方針を決定し、首長と国の介入を強めることです。

首長からは一定の距離を置き、教育の機会均等、教育水準の向上を目的とし、教育行政に反映させる。改善策として

予防事業の訪問介護と通所サービスが現行からはずされ、総合事業となるが独自で財源維持していくのは無理では。

### 介護保険の予防サービス 後退の心配は

#### 地域支援事業と合わせ 財源的にはサービス維持を想定

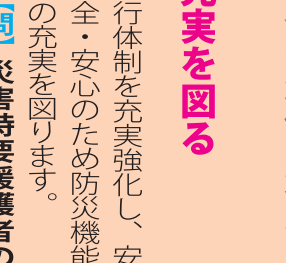


予防事業の訪問介護と通所サービスが現行からはずされ、総合事業となるが独自で財源維持していくのは無理では。

予防事業の訪問介護と通所サービスが現行からはずされ、総合事業となるが独自で財源維持していくのは無理では。

### インバウンティ周辺の生活環境など整備の考えは

#### ソフト面やハード面の整備を検討する

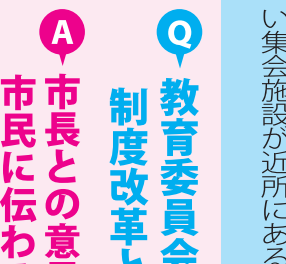


インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

視点を「閉じこもり予防」を目的とした空き家利用の可能性がありま

### 教育委員会の 制度改革と改善策は



市長との意思疎通を図り 市民に伝わるよう取り組む

市内の企業同士や地域と一層の連携を図れることをめざして、施設の整備計画や土地利用に

入居企業は17社で76人が仕事をしています。このうち地元採用者が48人で、9人が県立大学の卒業生です。

市内の企業同士や地域と一層の連携を図れることをめざして、施設の整備計画や土地利用に

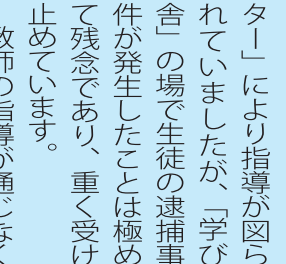
入居企業は17社で76人が仕事をしています。このうち地元採用者が48人で、9人が県立大学の卒業生です。

市内の企業同士や地域と一層の連携を図れることをめざして、施設の整備計画や土地利用に

予防事業の訪問介護と通所サービスが現行からはずされ、総合事業となるが独自で財源維持していくのは無理では。

### インバウンティ周辺の生活環境など整備の考えは

#### ソフト面やハード面の整備を検討する



インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

### インバウンティ周辺の生活環境など整備の考えは

#### ソフト面やハード面の整備を検討する



インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

インバウンティの現状は、12室に対して8室に10社、第2インバウンティは、9室に対して7室に7社が入居しています。

# 質一般